

上田市 3年 安藤葉月 記者



長野市 4年 一柳豪 記者

本とはちがう感じ

一番感動したのは、「100万回生きたねこ」のかけ絵です。家にこの本がありますが、かけ絵は、本とちがったどくとくとの感じがあり、感動しました。



長野市 4年 神服明生子 記者

動かすのは楽しい

私も人形を動かしてみました。げき団の人が教えてくれ、楽しかったです。重い人形や、細かく動く人形があり、げきの中でとても上手に動かしていたので、すごいなあと思いました。



坂城町 5年 窪田葵 記者

関節がたくさん

影絵の体験で、思い切って手を挙げて、当ててもらいました。人形は手作りで、近くで見ると、関節がたくさんあり、手足やしっぽが細かく動いてすごいと思いました。



学校にも来てほしい

長野市 4年 青木莉香 記者

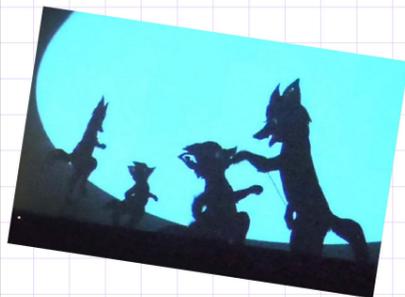
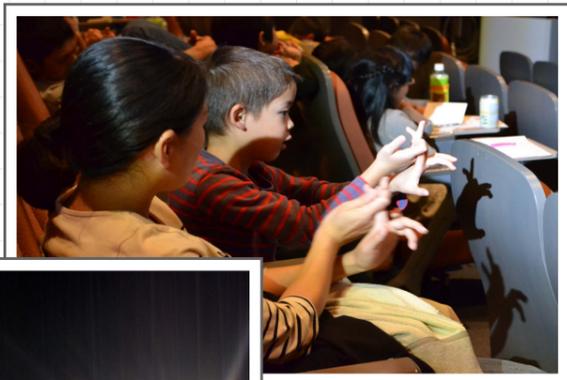
ただ絵本を読むよりも、音楽や語りの方がいると、内ようがとても心にひびきました。たくさんの方に知ってほしいので、私の学校にも来てほしいなと思いました。



かぜをひいたらできない

東御市 3年 滝沢昂大 記者

げきだんのひとたちがーばんたいへんなのは、体力です。かぜをひいてはできません。1人くらいある大きな人形もあり、かた手ではもてませんでした。



地域活動部 ニューフェイス

渡辺 淳一

はじめまして。10月1日に地域活動部に来た渡辺淳一です。地域活動部に来る前は、整理部というところで2006年4月から働いていました。県内外の記者が取材して書いたり、通信社から送られてきたりした原稿や写真を、ふだんみなさんが読んでる紙面に仕上げるところです。「このニュースは大きく見せたいな」「何が、この記事の一番おもしろいところだろう?」「どんな見出しなら注目してくれるかな?」...そんなことを考えながら、記事の組み合わせや見出しを考えていました。「こども新聞」を組むときも、みなさんやみなさんの先輩の生き生きとした様子が伝わるような見出しを考えたいな、と思いながら原稿を読んでいました。

私は、長野県の真ん中あたりにある岡谷市で生まれ育ちました。生き物が好きで、カブトムシの幼虫を育てたり、近くの川や諏訪湖へ釣りに出かけたりして自然の中で遊んでいました。また図書館では、図鑑などといっしょに昔話の本もよくかりて、ここでもまた県内の自然や動植物にふれていました。そんなことが影響したのが、県外の大学にいるときから「卒業したら県内で働きたい。自然や人々の暮らしを伝えられる新聞記者になりたい」と考え、信濃毎日新聞社に入りました。

「おどろき」を楽しもう

入社後は、飯田支社、整理部、飯山支局、2回目の整理部を経験して地域活動部に。この間に取材などで見聞きした信州は感動やおどろきでいっぱいでした。一面に広がる菜の花畑、斜面をおおうリンゴの花...。同じ県内なのに、岡谷ではあまり見かけなかった虫が普通に地域があったり、1日に3回雪かきしても、まだまだ積もる地域があったりします。自然ばかりでなく食べ物や言葉もいろいろがいがあります。音楽が好きなのは、エレキギター生産がトップクラスのメーカーが県内にあるということも、小さいころには知らなかった「おどろき」です。

わたしが子どもだったころとは、学校の授業や遊びなどいろいろちがうことが多いですが、みなさんといっしょに長野県の不思議や素晴らしいものごと、人たちにであい、楽しくおどろきでいっぱいの時間をすごせたらいいな、と期待しています。よろしくお願ひします。

